

竹田地区

(大分県竹田市)

平成 23 年 1 月 1 日現在

計 画 期 間 平成 18 年度 ~ 22 年度
面 積 107ha
交付対象事業費 473 百万円
市人口 26,586 人 (地区内人口 8,608 人)

ポイント 豊かな自然環境と風格のある歴史文化環境の調和を図り、城下町らしい景観整備

地区概要

城下町にあった街並み修景、道路の美装化等の整備により街の活性化を図る

目 標 歴史的景観の保全と再生による歩いて楽しい「竹田」の創造と、明るく健康的な住環境の整備を図る。

指 標 景観整備等により商店街の活性化と観光客の増加を目標とした。

観光客数	250,000 人(H16)	265,000 人(H22)
観光ボランティアガイドの活動回数	115 回(H16)	125 回(H22)
通りの歩行者数	1,740 人(H16)	1,900 人(H22)
市街地水路の改善	40%(H16)	20%(H22)

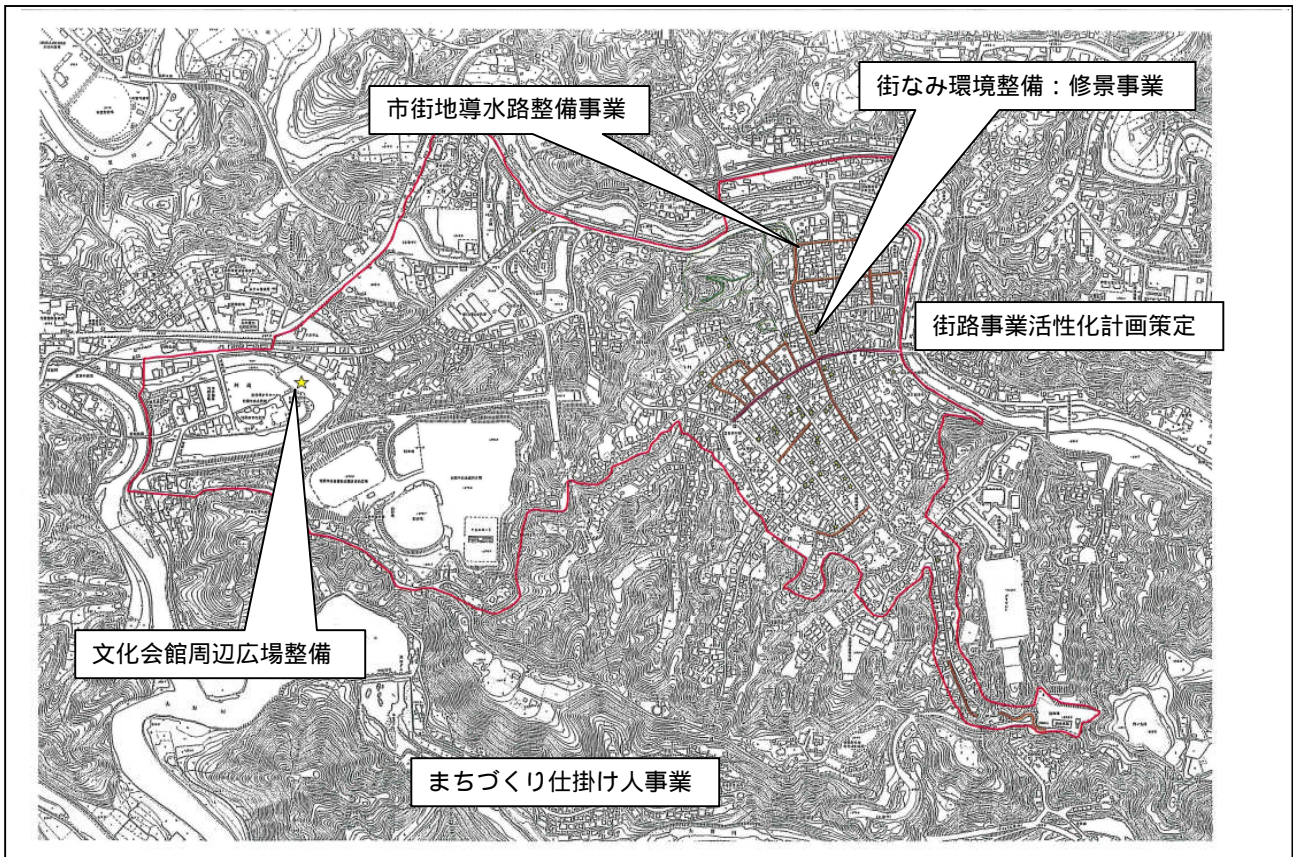
事業内容

基幹事業(380 百万円)

公園(延長 170m)、生活基盤(広場 10,230m²)、高質空間(道水路 6 路線)、街なみ整備(7 路線 4ヶ所 27 棟)

提案事業(93 百万円)

文化財修理、活性化計画、仕掛け人事業



地区の現況と課題

当地区は岡藩時代から奥豊後地域の中核としての役割を担い、城下町として長い間栄えてきた。しかし、人口の大都市への流出、大型店や個店の郊外への移転などによる様々な社会情勢の変化は中心市街地の衰退をもたらした。

基幹事業の特徴

高質空間形成

市街地を流れる水路の改修を行い、衛生面と音空間の改善を図るとともに、路面の補修を行う。

街なみ環境整備事業

城下町の風情にあった街並み景観形成のための住宅等の修理、修景に対して助成を行い、あわせ道路の美装化や小公園の整備を行う。

提案事業の特徴

まちづくり仕掛け人

特産品の開発や、それに携わる人材の育成、雇用の拡大により商業活動を中心とした中心市街地活性化を図る。

文化財修理・復原

指定・登録有形文化財の修理、復原

城下町を活かした歴史的街なみ景観づくりを進めており貴重な歴史的建築物であるため、復原修理を行い、後世につたえたい。

街路事業活性化計画の策定

都市計画街路事業を契機としたまちづくりを検討する

計画策定プロセス

雇用創出

トマト加工品・料理、名水を使った、どぶろく・ワイン作り
山菜・農産物の積極的な活用をし、商家民泊などで食の提供により地域の活性化を目指す。

有形文化財の復原

願成院円通閣を整備し、春は桜・秋は紅葉と竹楽の名所であり、多くの観光客、市民の訪れる場所とする。

街路事業による活性化計画策定

旧竹田市の中心市街地で、道路事業の観点だけでなく、地域、まちづくりからの観点を含めた検討を行う。



整備前



整備後

生まれ変わった道路



整備前



整備後

蘇った建物



食育グループとの打合せ、研修会の様子



復原した文化財建物



まちづくり会議の様子